

公表

自己評価総括表(事業所の評価結果)

○事業所名	児童発達支援アールプラス		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 4日	～	2025年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 2月 4日	～	2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しています。	GMFM、ヴァインランド、脳バランサーキッズ等を使用し、アセスメントを行っています。	新たなアセスメントツールを利用することを検討します。
2	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しています。子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行うよう努めています。	標準化されたアセスメントツールを使用し、その結果を踏まえて保護者と相談しながら児童発達支援計画を作成して、実行しています。	保護者への研修会等を開催し、日常生活の支援の仕方を充実させてまいります。
3	活動プログラムが固定化しないよう、豊富なプログラムを準備しています。子どもたちは通所を楽しみにしています。	5領域に関連した豊富なプログラムを用意し、子どもたちが豊かな経験ができるよう工夫しています。	専門職と保育士が協力して、多様なプログラムを展開することを検討します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や行事が十分に設定できていません。	開設したばかりで利用者が少なかったためです。	利用者が増えてきたため、今後、保護者会を開催します。
2	定期的に情報を発信できる媒体がありません。	発信できる体制が整っていなかったためです。	発信できる媒体を準備します。
3	他機関と連携する機会が少ないと思います。	他機関と連携する体制が整ってなかったためです。	他機関と連携する機会をつくっていきます。